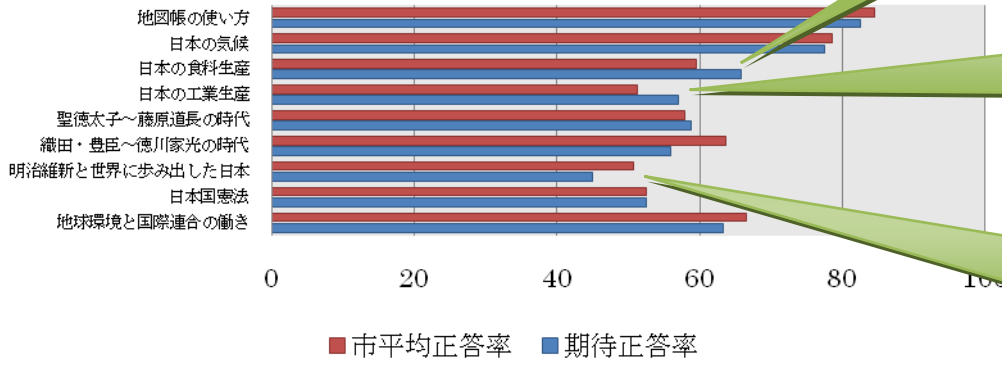


◆◆◆仙台市標準学力検査の結果と分析◆◆◆

中学校社会科

中学1年生の結果

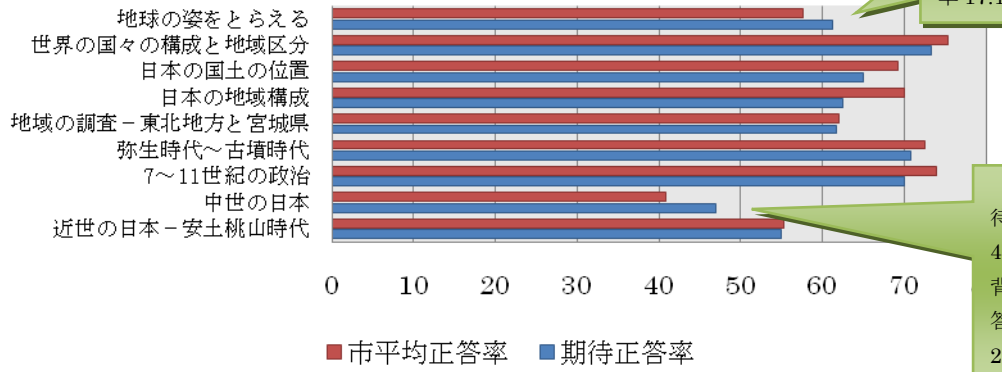


栽培漁業についての知識・理解を問う問題は、期待正答率を約 25 ポイント下回っています。

自動車の製造の過程を理解しているかを問う問題では、期待正答率を約 26 ポイント下回っています。

全体的には期待正答率よりも高くなっていますが、日清戦争の背景について理解しているかを問う問題では、18.6 ポイント下回っています。

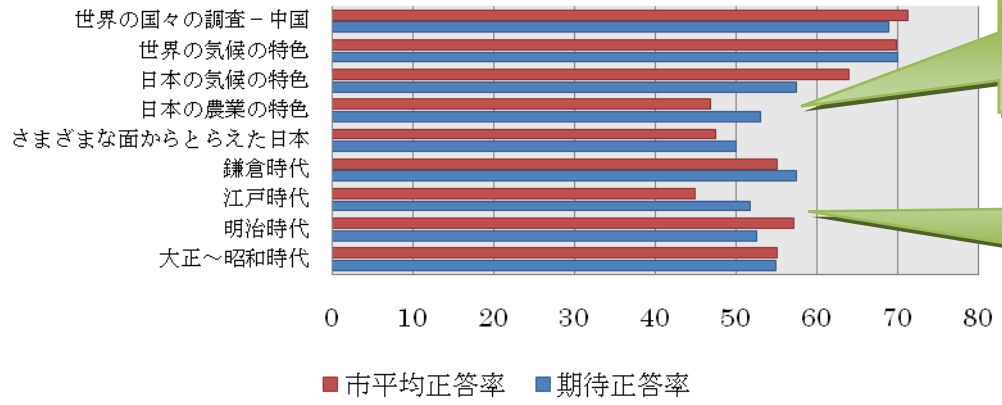
中学2年生の結果



応用を問う問題は、地球のすがたをとらえる問題、特に西経をまたぐ時差について、期待正答率 30.0%に対して、正答率 17.1%でした。

中世の日本を問う問題では、期待正答率 47.0%に対して、正答率 40.9%で、特に応仁の乱がおこる背景の出来事については、期待正答率 40.0%に対して、正答率 21.9%でした。

中学3年生の結果



日本の産業の特色を問う問題では、期待正答率 53.0%に対して、正答率 46.9%で、特に工業についての落ち込みが目立ちました。

江戸時代の政治改革の内容を問う問題では、期待正答率 40.0%に対して正答率は 24.9%でした。

日本の産業

地図・地図帳を効果的に活用し、注意深く読み取らせましょう

地図を活用し、読み取った情報をさらに比較、思考、判断して多面的・多角的に事象をとらえさせることが大切です。

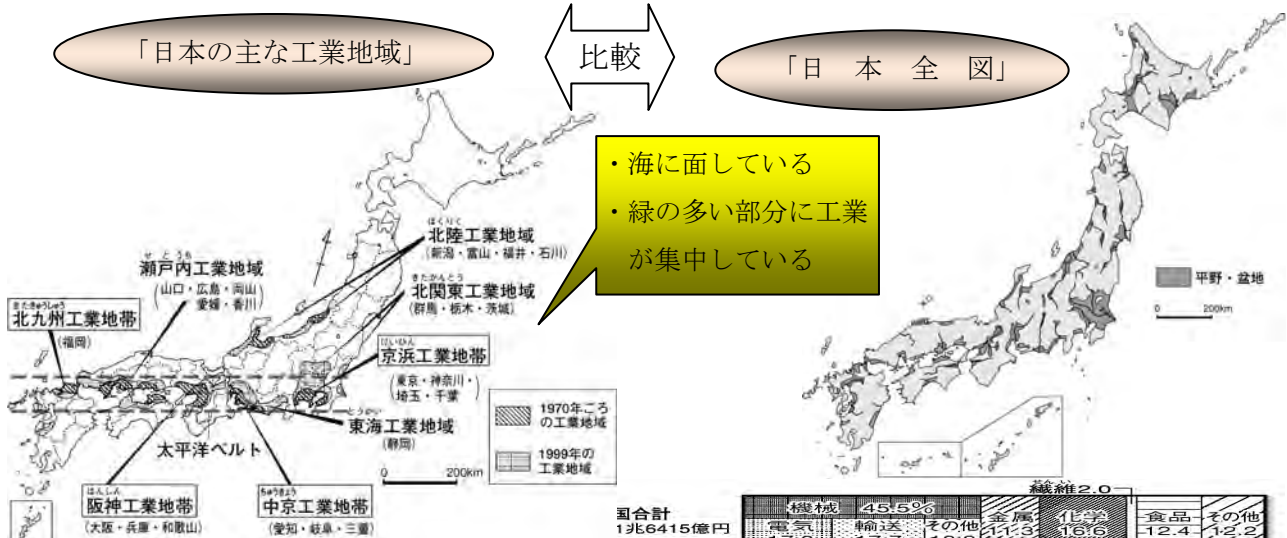
◎地理的分野の学習を進めるに当たって、地図（世界や日本全地図）や年表を教室・ホールに掲示し、常に地図を意識させましょう。

1学年では基礎的な地図帳の使い方を身に付けさせ、2学年ではより注意深く読み取らせていく作業に重点を置きましょう。以下のような作業を段階的に、毎授業、意識的に取り入れていきましょう。

- 索引から地名を引けるようになる。
- 統計資料やグラフから情報を読み取ることができる。
- それらを集めた情報を分類し、比較、考察できる。
- 諸事象を総合してとらえることができる。
- ほかの事例と比較して、さらに追究することができる。
- いつも地図帳を開き、地図の中で確認し、考えられる。

「日本の工業地域」の学習

① 《環境要因との結び付きを考えさせましょう》



② 《特色を比較させましょう》

「工業地図の分布」

中京工業地帯は自動車産業、
京葉工業地域は化学工業が中心

| 地域 | 総産出額 (億円) | 機械 | 電気 | 輸送 | その他 | 金属 | 化学 | 繊維 | 食品 | その他 |
|----------|-----------|-------|------|------|------|------|------|-----|------|------|
| 国合計 | 13兆6415億円 | 45.5% | 17.0 | 17.7 | 10.8 | 11.3 | 16.6 | 0.8 | 12.4 | 12.2 |
| 京浜工業地帯 | 53兆5957億円 | 42.4% | 17.2 | 13.6 | 11.4 | 10.3 | 21.4 | 0.7 | 10.7 | 14.4 |
| (東京・神奈川) | 30兆1213億円 | 50.5% | 20.4 | 17.1 | 13.0 | 7.3 | 17.7 | 0.7 | 9.4 | 14.4 |
| (千葉)* | 10兆5800億円 | 19.0% | 11.5 | 16.1 | 18.0 | 36.7 | 1.4 | 0.4 | 13.6 | 12.3 |
| 北関東工業地域 | 24兆9784億円 | 45.0% | 16.3 | 15.0 | 13.7 | 13.4 | 17.0 | 1.1 | 14.6 | 8.9 |
| 中京工業地帯 | 47兆2232億円 | 68.0% | 11.4 | 42.7 | 3.9 | 9.4 | 11.1 | 1.9 | 5.9 | 8.7 |
| 阪神工業地帯 | 30兆6676億円 | 35.5% | 15.3 | 5.5 | 14.1 | 16.6 | 21.9 | 2.8 | 11.4 | 11.8 |
| 瀬戸内工業地域 | 23兆746億円 | 34.4% | 9.3 | 16.9 | 8.2 | 15.4 | 26.3 | 2.8 | 10.0 | 11.1 |
| 北九州工業地帯 | 7兆252億円 | 41.5% | 10.4 | 24.8 | 6.3 | 14.6 | 10.7 | 1.0 | 18.4 | 13.6 |

*この地域は、京葉工業地域とよばれることもあります。

<「社会科中学生の地理」(帝国書院)>

《地理的要因を考えさせましょう》

臨海部 と 内陸部

日本海側 と 太平洋側

の特徴(違い)を考えさせましょう。

③ 《工業地域の変化を考えさせましょう》

二つの地図を比較してその関係について考えさせましょう。(新旧比較や工場の分布など)

中世の日本

資料を読み取らせ、キーワードを用いて歴史の流れを説明できるようにさせましょう

「中世の日本」は、資料が少ないので、教科書の資料を丁寧に読み取り、歴史的事象を前の時代と、そしてその後の時代と比較したり関連付けたり、変化の様子などを言葉で説明したりすることが必要です。

普段の授業の中で、生徒に興味関心を持たせたり、資料を読み取らせたりするための工夫



- 教科書の資料をPPに貼り付けて、電子黒板（大型モニター）で大写ししましょう。（教科書のCDを加工するとすぐにできます）
- 大写した資料と同じものをプリントして生徒に渡しましょう。
- 学習課題をさせたり、基本事項の確認をしたりしたいときも、答をPPにして提示すると一瞬に確認することができて便利です。

思考力を身に付けさせる方法として、歴史的事象を多面的・多角的にとらえ、その時代の歴史の特色を自分の言葉でまとめさせることが大切です。
適切な課題を設け、まとめとねらいに即したキーワードを生徒に提示し、自分の言葉でまとめさせましょう。繰り返して実践することで、一つ一つの歴史的事象を関連付けたり比較したり、大観したりすることができるようになります。

例1 承久の乱前後の様子

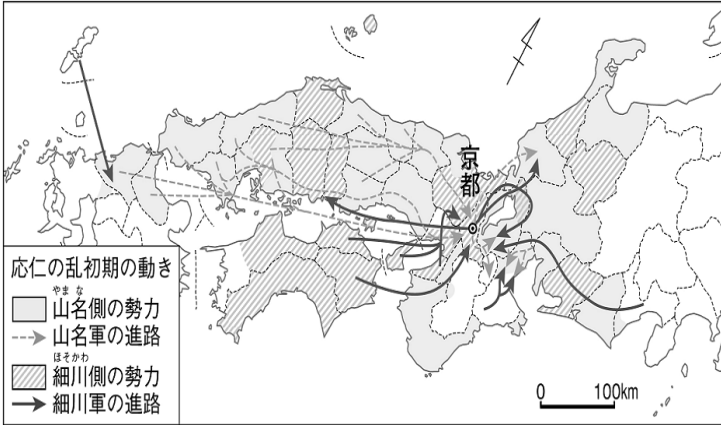


(図1：「社会科中学生の歴史」帝国書院)

- 学習課題**
- 承久の乱はなぜ起こりましたか。
 - 承久の乱の後、幕府、西国・東国の武士、はどのように変化しましたか。

- まとめとねらいに即したキーワード**
- 1221年、後鳥羽上皇、北条義時、北条政子
 - 幕府→六波羅探題、西日本
西国の武士・東国の武士→没収、地頭

例2 応仁の乱の地方への広がり



(図2：「社会科中学生の歴史」帝国書院)

- 学習課題**
- 応仁の乱はなぜ起こりましたか。
 - 応仁の乱をきっかけに世の中はどうなりましたか。

- まとめとねらいに即したキーワード**
- 1467年、足利義政、義尚、山名、細川、将軍家
 - 幕府、下剋上、戦国時代

地図の活用 ～時差の求め方～



南極(南緯90°) [帝国書院 地図]

今、仙台市が午前 11 時とすると、オーストラリアのシドニーは何時でしょうか。また、アメリカ合衆国のシアトルは何時になるでしょうか。中学生にとって、時差の求め方に苦手意識があります。あまり、難しく考えることはありません。まず。地球の構造と地球儀について理解させましょう。

1 緯度についてしっかり理解させましょう。

① 赤道を境に北側、南側をそれぞれ何半球と言いますか。

② 北半球と南半球にある国をそれぞれ 3 つ挙げましょう。

北半球 (. . .) 南半球 (. . .)

③ どうして日本とオーストラリアは季節が逆になるのでしょうか。

()

2 経度についてしっかり理解させましょう。

① 上の世界地図に、本初子午線を赤線に入れてみよう。

② 本初子午線を境に、東側の $0 \sim 180^\circ$ を東経、西側の $0 \sim 180^\circ$ を西経であることが言えるようにしよう。

③ 世界のさまざまな国の位置を、緯度と経度を用いて指摘してみよう。

④ 地球が 1 日 1 時間につき 15 度ずつ自転していることを理解しよう。

$$360 \text{ 度} \div 24 \text{ 時間} = 15 \text{ 度}$$

⑤ 日付変更線について理解しよう。

3 実際に時差を求めさせてみましょう。

① 『東経バージョン』それぞれの国が東経 $0 \sim 180^\circ$ の場合

東京 (東経 135 度) シドニー (東経 150 度)

$$(150 \text{ 度} - 135 \text{ 度}) \div (\text{①}) \text{ 度} = (\text{②}) \text{ (時間)} \cdots \cdots (\text{③})$$

時間の時差

② 『東経&西経バージョン』それぞれの国が東経と西経にまたがる場合

東京 (東経 135 度) シアトル (西経 120 度)

$$\{(135 \text{ 度} + (\text{④} \text{ 度})\} \div (\text{⑤}) \text{ 度} = 255 \text{ 度} \div (\text{⑤}) \text{ 度} = (\text{⑥}) \text{ (時間)}$$

$$\cdots \cdots (\text{⑥}) \text{ 時間の時差}$$

* 時差が出たら、実際の時刻をあてはめさせる。(落ち着いて丁寧に逆算させる。)

* 時差の問題の場合、常に「ロンドンを基点にする。」という考え方で計算させる。